

日本健康医学会雑誌「投稿規定の詳細」

雑誌編集委員長 (2021. 4)

1. 原稿の種類

総説 (Review), 論説 (Editorial), 一般原著論文 (Regular original article), 短報 (Short communication), 症例・事例報告 (Case report), 資料 (Note) に区分する。

論説とは、「健康医学上の課題に関する新規な意見・主張」、短報とは、「断片的であるため原著論文としてまとめることはできないが、公表することが健康医学研究の発展に寄与するもの」、症例・事例報告とは、「臨床・介護・看護・保健活動等の事例で、公表することが健康医学の発展に寄与するもの」、資料とは、「会員に参考となる社会科学・自然科学に関する記録など」をそれぞれさす。系統的レビュー (Systematic review) とメタ解析 (Meta-analysis) は原則として一般原著論文に含める。

2. オリジナリティ

一般原著論文, 短報, 症例・事例報告, 資料の内容は, 他紙に発表済・投稿中でないものに限る。

3. 投稿資格

依頼総説を除き, 投稿者 (共著者含む) は, 原則として, 全員が日本健康医学会会員に限る。

4. 査読

原稿は, 編集委員会で査読し, 採否を決定する。

5. 著作権

本誌に掲載された原稿の著作権は, 本会に属する。

6. 倫理上の配慮

ヒトを対象とした研究, および爬虫類以上の実験動物を用いた研究の場合は, 倫理上の配慮の具体的内容を論文に明記する。

7. 論文の言語

和文, 英文のいずれの原稿も受け付ける。原稿中の英文 (アブストラクト含む) は, Native speaker のチェックを受けること。(証明書を添付すること)

8. 投稿方法

投稿は, 電子投稿・郵送のいずれも受け付ける。

①電子投稿の場合, 原則として MS-Word 形式の単一ファイルとして作成した電子原稿を, 下記の日本健康医学会雑誌編集委員会のメールアドレスに電子メールの添付書類として送付する。図表および写真を Power point などの汎用ソフトウェアで作成し, 本文・引用文献のあとに 1 ページに 1 つずつ付ける。念のため PDF 形式のファイルも送付する。投稿後 1 週間以上経ても返信のない場合は, 事務局に連絡を入れること。

②郵送による投稿の場合は, プリントアウトした原稿を 1 部, および電子原稿のファイルを保存したメディアを下記の編集委員会宛に封書で送付する。

〒151-0053

東京都渋谷区代々木 1-52-4 バルテ南新宿 304

日本健康医学会雑誌編集委員会

E-mail : ando@nodai.ac.jp

9. 掲載料

原則として刷り上がり4頁（図表等を含む）までは無料掲載とするが、これを超過する分は実費を徴収する。刷り上がり4頁の目安は、図表を含め、和文で8000文字程度、英文で16000文字程度である。

10. 別刷

別刷に代えて掲載論文のPDFファイルを責任著者に無料で配布する。印刷された別刷を希望する場合は、必要な部数を原稿の第1頁に朱書きする。別刷り作成に必要な経費は著者負担とする。

11. 原稿作成要領

①原稿は和文・英文ともに10から12ポイントの文字でA4用紙に1ページ1000文字を目安に印字する。用紙の上下左右には25mm以上の十分な余白をとり、タイトルを含めて行番号を付記する。英文は要旨、本文ともにすべて半角文字を使用する。

②第1頁には次の項目を、和文原稿は和文と英文の両方、英文原稿は英文のみで記載する。タイトル、著者（全員をフルネームで）、全員の所属、論文の種類、連絡先住所、電話番号、ファクス番号、電子メールアドレス。著者のうち責任著者（Corresponding author）には氏名横に※印をつける。所属は論文に記されている研究が行われた時点のものを記載する。研究実施時と論文投稿時で所属が異なる場合は、研究実施時の所属を優先し、論文投稿時の所属は脚注にして、和文の場合は「現在：○○」、英文の場合は「Present address：○○」のように記載する。

③和文、英文、いずれも、第2頁には要旨（Abstract）とキーワード（3-7語）を記載する。要旨は、緒言、方法、結果、考察などの項目に分けずにまとめる。

④第3頁に、和文原稿の場合は英文タイトルおよび要旨、英文原稿の場合は和文のタイトルおよび要旨を記載する。

⑤本文は第4頁以降に記述する。原著および短報の章立ては原則として以下のとおりとする。緒言（Introduction）、方法（Methods）、結果（Results）、考察（Discussion）、文献（References）。結果と考察を1つの章にまとめてもよい。

⑥図表は、文献も含めた本文のあとに、1頁に1つずつ記載する。

⑦和文原稿の図表は和文、英文のいずれで作成しても構わないが、ひとつの論文の中で統一する。

⑧図および写真は原則としてモノクロとする。カラー印刷希望の場合は、その旨を記載する。なお、カラー印刷にかかる費用は、著者負担とする。

⑨引用文献は、本文中の該当個所に片カッコに入れた番号1）を肩文字として順につけ、文献の欄に番号順に記述する。引用文献の記載は後述の「引用文献の記載法」に従う。

⑩原稿中の単位は、原則として国際単位系（SI）に従う。ただし、ppm, dL, kcal, mmHgなど、慣用的に広く使われている単位の使用は構わない。なお、ℓ（リットル）は、数字の「1」との誤認を避けるため、大文字の「L」を使用する。

⑪略称は、WHO（世界保健機関）、ICU（集中治療室）のように一般に認知されているものも含めて、要旨と本文、それぞれの初出の箇所ですく正しく定義する。論文の表題に略称を使用することは、原則として認めない。

⑫和文において、漢字を用いるのは「名詞」、「動詞」、「形容詞」、「形容動詞」とし、「副詞」、「連体詞」、「接続詞」、「接頭語」、「接尾語」、「助動詞」などは原則として平仮名書きにする。すなわち、「及び」、「並びに」、「例えば」、「～等」などではなく、「および」、「ならびに」、「たとえば」、「～など」と記載する。ただし、法律など、元の文書が漢字書きしているものを直接に引用する場合は、引用元の記載に従う。

⑬英文タイトルにおいて、冠詞（a, an, the）、等位接続詞（and, but, or, not, yet, for, so など）、前置詞（at, by, down, for, from, in, on, to, with など）以外の単語は、最初を大文字にする。等位接続詞や前置詞であっても5文字以上の場合（about, above, before, after, between など）は、最初の文字を大文字にする。従属接続詞（if, although, because, unless など）、関係代名詞（that, which, who など）は最初を大文字にするが、

これらをタイトルに使用することは原則として避ける。

12. 引用文献の記載法

A. 学術雑誌に掲載されている論文

①原則として、以下の例のように、『著者名（全員）：論文タイトル．雑誌名（略称）巻数（号数は必要な場合のみ）：掲載ページ（開始-最終），刊行年』とする。電子ジャーナルにおいて、ページ数ではなく論文の番号のみが存在する場合は、雑誌名の後を『巻数（号数）：論文番号，doi：識別記号』とし、論文番号のあとに「doi：識別記号」を記載する。早期公開されている論文の場合も「doi：識別記号」を記載する。

- 1) 原田小夜，清水めぐみ：高齢精神障害者の地域ケアにおける課題—地域ケア個別会議に提出された困難事例から—．日健医誌 26：257-264，2017
- 2) Johnson GW, Evance EC：Zinc absorption in rats fed a low-protein diet and a low-protein diet supplemented with tryptophan or picolinic acid. J Nutr 125：1081-1089，1999

②著者名は多数であっても必ず全員の姓名を記す。英文論文の場合は、Yoshida Mのようにfamily nameを前にし、first nameは大文字のイニシャルのみとする。Second name以降がある場合は、Johnson GWのようにピリオドを挟まずsecond name以降のイニシャルのみをfirst nameのイニシャルに続ける。著者と著者の間はカンマでつなぎ、最終著者の前にandはいれない。

③著者名と論文のタイトルとの間はコロン（：）とする。論文タイトルは省略せずに全文を記す。英文論文の場合、大文字にするのはタイトルの先頭の1文字のみとする。ただし副題が添えられている場合は、副題の先頭文字も大文字とする。

④タイトルと雑誌名の間はピリオドとする。雑誌名は必ず略称を記載する。和文雑誌は医学中央雑誌、英文雑誌はPubmedが採用している略称に準じる。ただし、本会誌の略称は「日健医誌」とする。特定の大学や研究機関が刊行している紀要的なもので、一見しただけでは紀要であることがわからないものは、雑誌名の後に発行元の研究機関名を括弧書きで入れる。

⑤雑誌名と巻数の間はカンマやピリオドなどは入れずに半角空ける。

⑥号数は、号ごとにページが振り直されている場合にのみ、巻数のあとに空白を入れずに『32 (3)』のように括弧書きで入れる。

⑦巻数と開始ページの間は、コロンとする。

⑧最終ページと刊行年の間は、カンマとし、刊行年のあとにピリオドは入れない。

B. 単行本の場合

①引用の最小単位は章または節とする。数行単位の記述を切り取って引用することは、執筆者の意図と異なることを引用するリスクがあるので避ける。とくに人文科学や社会科学系の書籍の場合、書籍全体で1つの思想が形成されていることがあるので、部分引用は避ける。

②解説書やテキストなど、版が重ねられているものは引用した版を必ず記載する。増刷されている場合は、引用する版の初刷の年を記載する。

③章または節単位の引用であり、章または節の執筆者が明らかな場合は、原則として、以下の例のように、『引用した章または節の執筆者名：章または節のタイトル．書籍の名称，編者名，pp 開始ページ-最終ページ，出版社名，出版社の所在都市，刊行年』とする。

- 3) 左右田健次：酵素と微量元素．微量元素と生体，木村修一，左右田健次編，pp 110-120，秀潤社，東京，1987
- 4) Bremner I, May PM：Systemic interactions of zinc. Zinc in human biology, Mills CF ed, pp 95-108, Springer-Verlag, London, 1989

④編者が存在し、章または節単位の引用であるが、章または節の執筆者が明らかでない場合は、原則として、以下の例のように『編者名：章または節のタイトル．書籍の名称，pp 開始ページ-最終ページ，出版社名，出版社の所在都市，刊行年』とする。

5) 杉野佳江編：清潔援助の実際 洗髪・結髪. 標準看護学講座 13 基礎看護学 2 日常生活と看護技術 第 5 版, pp 395-399, 金原出版, 東京, 2003

⑤ 1 人または複数の著者で全体が執筆されている場合は, 原則として, 以下の例のように, 『著者名: 書籍の名称, 全ページ数 pp, 出版社名, 出版社の所在都市, 刊行年』とする。特定の章または節を明示することが読者に親切と考えられる場合は, 『著者名: 章または節のタイトル. 書籍の名称, pp 開始ページ-最終ページ, 出版社名, 出版社の所在都市, 刊行年』とする。

6) 広田すみれ：読む統計学 使う統計学 初版, 234 pp, 慶應義塾大学出版会, 東京, 2005

C. Web ページの場合

① Web ページの引用は, 公的機関の報告書などのように, 公表ページの存在が半永久的に保障されている場合に限定する。私的な HP やブログなどの引用は, 原則として認めない。大学, 研究所, 大企業などの HP でも, 随時更新されて記事が消滅する可能性がある場合は引用を避ける。報告書の場合, 印刷されたものが公的に存在する場合は, web ではなく印刷物のほうを引用する。

② Web ページの引用は, 原則として, 以下の例のように, 『Web を運用している機関名: 報告書 (あるいは記事, 統計書) 名. pp 引用する部分の開始ページ-最終ページ (または, 引用している図表の番号, あるいは報告書の全ページ数など), 引用する記事などの名称 (なくても構わない), 報告書が公開された年または該当の web ページが更新された年月日 (判明している場合), web のアドレス (括弧書きでアクセス日)』とする。

7) 厚生労働省：平成 29 年国民健康・栄養調査報告. p57-100, 第 1 部 栄養素等摂取状況調査の結果, 2018, <https://www.mhlw.go.jp/> (2020 年 10 月 1 日アクセス)

引用文献の書き方について以下に再度まとめる

① 印字の共通原則

和文の場合, カンマ, コロン, ピリオドは全角文字で続きに空白は入れない。巻数, ページ数, 出版年は半角文字とする。

英文の場合, 文字はすべて半角とし, カンマ, コロン, ピリオドは続きを半角空ける。

② 論文の場合

『全著者名 (著者と著者の間はカンマ): 論文タイトル. 雑誌名 (原則として医学中央雑誌または Pubmed での略称) 巻数 (雑誌名と巻数の間を半角空ける。号数は号ごとにページを振り直している場合のみ, 12 (4) のように巻数の後に空白を入れずに半角のカッコに入れて記す): ページ (最初と最後を 24-29 のように示す), 年 (最後にピリオドは入れない)』

③ 単行本場合

(1) 書籍の一部を引用: 引用の最小単位は節または章とする。

『章または節の全著者名 (著者と著者の間はカンマ): 章または節のタイトル. 書籍名 (副題および版数も記す), 編者名, ページ (最初と最後を pp 24-29 のように記す, 出版社名, 出版社の所在地 (州や府県名ではなく都市名, ただし東京 23 区は東京と記す), 出版年 (引用する版の初刷の刊行年を記す。最後にピリオドは入れない)』

(2) 書籍の全体を引用

『著者名 (著者と著者の間はカンマ): 書籍名 (副題および版数も記す). 全ページ数 (250 pp のように記す), 出版社名, 出版社の所在地 (都市名), 出版年 (引用する版の第 1 刷の出版年を記す。最後にピリオドは入れない)』